

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
義肢装具学	PSP22-010	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
福田 京佑	D308	kyosuke.fukuda	水曜 9:00～10:30		
授業の目的・概要	義肢装具の構造と機能の概要を理解し疾患の特徴と運動機能を考慮して装具の適用を決める方法を修得することを目標とする。遠隔授業においては、義肢・装具について課題学習等を通して理解し、その後のフィードバックと演習問題を行い、どのように義肢・装具の適用を決めるか理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	授業内容について理解できない場合は、積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	PT・OT ビジュアルテキスト義肢・装具学 第2版/監修 高田治実、編集 豊田輝、石垣栄司/羊土社				
参考書	義肢装具学第4版/編:川村次郎、陳隆明、古川宏、林義孝/医学書院				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	装具の写真や実物を見て、名称と構造・機能の特性を説明できる。			RH(3), (4), (5)	
②	疾患における装具の適用を修得する。			RH(3), (4), (5)	
③	装具適合のポイントを指摘して必要な修正方法を答えられる。			RH(3), (4), (5)	
④	切断に対する理学療法、義肢の適応を修得する			RH(3), (4), (5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	装具の目的・分類・3点固定の原理を学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.242～250 を読む。	4
2	下肢装具の構成部品とそのチェックアウトについて学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.251～264 を読む。	4
3	足継手の制御機構について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.265～272 を読む。	4
4	疾患別の装具療法①: 脳卒中片麻痺の装具について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.273～280 を読む。	4
5	疾患別の装具療法②: 脊髄損傷の装具について学習する	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.281～302 を読む。	4
6	疾患別の装具療法③: 整形外科的装具・リウマチ装具について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.303～310、P.354～360 を読む。	4
7	疾患別の装具療法④: 頸椎疾患・胸腰椎疾患の装具について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.311～326 を読む。	4
8	疾患別の装具療法⑤: 末梢神経障害の装具について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.327～337 を読む。	4
9	疾患別の装具療法⑥: 小児疾患・脊柱側弯症の装具について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.345～353、P.338～344 を読む。	4
10	靴型装具について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.361～366 を読む。	4
11	車椅子・杖について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.367～374 を読む。	4
12	義肢・装具の給付制度について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.375～383 を読む。	4
13	切断のリハビリテーションについて学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.18～29 を読む。	4
14	大腿義足について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.70～91 を読む。	4
15	下腿義足について学習する。	[担当] 福田 京佑	講義	教科書 P.92～110 を読む。	4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施し評価する（100%）。試験は教科書を基に出題する。				試験内容の問題について適時解説を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員								
教員の実務経験		理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容		理学療法業務を行う問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、具体的な対応策を考察し検討する。学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。						
そ の 他		全て対面授業で実施する予定である。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。 問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。						